

令和元年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	若木ライフ		施設番号	K230
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があつた場合の実施状況 (令和 年 月 日時点)
財務体質の改善を推進して地域で一番と言われたいように期待したいについて	以前は派遣職員の増加などで一時は80%近かった人件費率が70%台後半に下がり、厨房外注化や光熱水費のコストダウンにより財務内容が改善されてきている。	抜本的には毎月の利用率目標の必達と常勤比率の引き上げが至上命題であり、今後も引き続きコストダウンと人材の確保・育成が必要である。社会福祉法人の重要なミッションの一つである地域貢献の使命を果たすには財務体質の改善は必須条件であり、若木ライフが地域で一番の施設と言われるように期待したい。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。利用率向上に向け、引き続き、地域包括等と綿密に連携を行っている。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
職員自身の支援の振り返りを研修に取り入れることを希望するについて	今年度5月に相談員などが講師となって「虐待防止・権利擁護研修」を開催して知識・技術の向上を図っている。隔月で板橋区若木相談室の訪問相談を受け入れ、利用者が第三者と話せる機会を設けている。もしも虐待被害が認められた際には、区担当部署と連携する体制を整備している。	現在年1回実施している高齢者虐待発見チェックリストは「利用者が発するサイン」に気づくものであるため、今後は不適切な支援を含めて職員自身の支援を振り返る機会となるような「虐待の芽チェックシート」などの日常的な活用をお勧めしたい。	1 実施済み ② 実施予定(令和2年10月ごろ) 具体的には以下のとおりです。「虐待の芽チェックシート」等の使用を検討し、他のツールも視野に入れて下半期頃を目途に実施して行く。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
5W1Hを基本に記録の充実を図るようお願いしたいについて	タブレットとパソコンから施設サービス計画書を閲覧でき、全員で共有して支援の統一を図っている。自立支援を目指して自分で出来ることは自分で出来るように、介助が必要なところと合わせて計画書を作成している。アセスメントの見直しを兼ねてカンファレンスを開催して記録に残し、申し送りノートに変更後の要点や注意点を記載するとともに申し送り時に共有化を図っている。	記録では8時半(夜勤)・16時半(日勤)を基本に看護師が時間と内容を看護記録として残しているが、5W1Hを基本として具体的な内容も記載して記録の充実を希望する。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。記録に関しては、マニュアルを作成し、基本的な記録方法を浸透させるだけでなく、記録内容を充実させるように周知している。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和元年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。